社会福祉法人　福井県社会福祉協議会

ふくい社会福祉

2019 11 No.439

Fukui Social Welfare

写真で振り返る「プレイバック平成のボランティア④」福井豪雨災害ボランティア（平成 16 年 7 月）

※福井市美山地区の足羽川沿いに建つモニュメント（最終ページに解説）

※表紙写真の一部は、福井市社会福祉協議会からご提供いただいたものです。ご協力に感謝申し上げます。

CONTENTS

2,3P 特集 ボランティア活動の変遷で振り返る“平成”
テーマ：「芸術・アートとボランティア活動」
まち・ひと・キラリ　野尻　尚美さん

4,5P 報告
- 第66回福井県社会福祉大会開催報告
- 「ふくし広報コンテスト2019」入賞作品決定
- 「福井県ボランティア作文コンクール」入賞作品決定
- 第8回ふくいチャリティー・アート展のご案内

8P
- 寄付・寄贈
- ボランティア月間制定30周年「ボランティアのつどい」のご案内
- 「介護ロボット福井フォーラム」のご案内

6,7P 社協 TOPICS
- ライオンズクラブとの災害協定締結
- 福井県保育人材センター開所
- 東海北陸ブロック地域包括・在宅介護支援センター研究協議会『福井大会』開催
- 生活福祉資金貸付制度のご案内

別紙 令和元年度福井県社会福祉協議会・福井県共同募金会会長表彰受賞者一覧

ふれあいネットワーク

この広報誌は赤い羽根共同募金の助成により作成しました。

令和元年度特別企画　ボランティア月間制定30周年記念
「ボランティア活動の変遷で振り返る〝平成〟」
～11月号テーマ「芸術・アートとボランティア活動」～

令和元年度に「ボランティア月間制定30周年」を迎えるにあたり、毎号さまざまな切り口から平成のボランティア活動を振り返っている特別企画の第4弾。今号では本会が関わってきた芸術・アートを通じたボランティア活動に焦点を当てて、活動の流れを振り返ります。

芸術作品で社会貢献

本会では昭和49年より、福井県にゆかりのある名士・作家の皆様から提供いただいた絵画や陶芸作品を展示、頒布し、その収益を活用して福祉活動団体や福祉事業を支援する「名士・作家作品展示頒布会（チャリティーアート展）」を開催してきました。開始当時は、福祉活動の資金を得るためには募金や寄付を募る方法が主流でした。その中で福井県ゆかりの著名人や名士・作家の協賛を得るチャリティーの開催は、単に資金を獲得するだけでなく、協賛者の社会福祉事業への理解促進を図るとともに広く県民の皆様に文化芸術面で活躍されている福井県ゆかりの方々を紹介するという画期的な事業でもありました。

これまでこの事業にご協賛いただいた名士・作家の方々は、県内外併せて約700名にのぼり、これまでも「自分の作品によってふるさと福井県の福祉に貢献できるならうれしい。」「自分が制作できる限り協力したいと考えている。」という温かい応援の言葉をいただいています。一方、来場者からは、「県内外で活躍されている方々の作品が一堂に展示され、毎年楽しみに来ています。」「好きな作品を入札することもでき、それが福祉のために使っていただけるならうれしい。」という声もいただいています。

平成22年度チャリティーアート展の様子

事業開始当初は基金の造成を図るとともに、その運用益を利用してボランティア活動の普及啓発事業や福祉教育の推進事業、福祉関係団体の活動支援を行ってきました。その後、平成21年度からはこれまでの「文化・芸術を通じた福祉活動の推進を目的とする事業」への助成に加え、福祉車両（チャリティーアート号）の寄贈も実施し、その後の5年間で民間活動団体の24事業への助成と9台の福祉車両の寄贈を行いました。また、東日本大震災が起こった平成22年度については出品者と本会が協議し、500万円の義援金を現地に送金しました。

新たな取り組みへの転換

厚生労働省「国民生活基礎調査」の平成24年度データとして、貧困状況にある17歳以下の子どもの割合を示す「子どもの貧困率」が16.3％と発表され、データを取り始めた昭和61年以来、過去最悪となり、約7人に1人が相対的貧困状態にあることが明らかとなりました。

このような状況を受け、平成24年度からは、チャリティーアート展の収益を児童福祉分野に活用することを協議し、これを機に、事業名を「ふくいチャリティーアート展」に改称するとともに開催テーマに「未来を支える子どもたちのために」を掲げ、児童福祉施設への福祉車両の贈呈に切り替えるなど事業内容の見直しを行いました。

さらに平成28年度からは、相対的貧困、親から子への貧困の連鎖、社会的な孤立など、子供たちの健やかで自立した育ちを阻む課題の解決を図るため、「松原ふれあい基金」の運用益も活用した「子ども未来支援事業」を創設して「児童養護施設退所者の自立支援」と「子ども食堂への助成」の事業を行っています。

障がい者アートの可能性も広げる

平成30年度からは、新たな出展者として知的障がいや発達障がいがある方々とその保護者が中心となり、書道作品や革雑貨を制作している「くらふとくらぶ」のメンバーが加わりました。

来場者は、障がいの有無に関係なく、その作品から発せられるエネルギーや魅力に魅了され、表現者の個性を大切にするアートの可能性を感じる展示となっています。

今年度も「くらふとくらぶ」のメンバーの作品は、「ふくいチャリティーアート展」に出展される予定です。

「エコキャップアート」でつながるボランティアの輪

本会では、平成22年度、ボランティア月間制定20周年を迎えたことを機に、もっと県民一人一人が「つながる楽しさ」を感じ、普段のくらしの中から「つながりの輪」を広げていくことを目的に「『つながれボランティアの輪』推進運動」を展開し、その一つとして「エコキャップアートコンテスト」が誕生しました。

ペットボトルのキャップは、捨ててしまえばゴミですが、集めてリサイクルすれば、800個で1人分のポリオワクチンを買うことができ、発展途上国の子どもたちの命を救うことができます。カラフルなエコキャップそのものの色を使い、職場や学校、地域の方たちが、エコキャップ収集のボランティア活動に取り組み、心を一つにしてアート作品を作ることで、人との出会い、関わり、つながることの楽しさや喜びを共感してもらえるイベントとなりました。（平成28年度をもって終了。）

平成23年度エコキャップアートコンテスト展示の様子

応募作品は、毎年「ふくい・つながりフォーラム」の会場にて、展示、審査、表彰が行われ、作品の審査には、会場に来場した一般県民の方々にも加わっていただきました。数々の力作を前に来場者からは、「審査が難しい。」「迫力がある。」「色彩がきれい。」「見ていると幸せな気持ちになる。」など感動の声が聞かれる企画でした。

芸術・アートには、人の心に想いを届ける、伝える力が宿っており、障がいの有無や年齢・性別・国籍を超えて、人と人をつなぐ力があります。「地域共生社会」の実現においても、芸術やアートが、これからの新しい「ふくし」の形を創造していくことになるのではないでしょうか。

〈まち・ひと・キラリ☆〉

キラリワード：芸術・アートを通じて社会とつながる

今回は、昨年度から「ふくいチャリティー・アート展」に参加いただいている「くらふとくらぶ」副会長 野尻尚美さんにお話を伺いました。

野尻　尚美 さん

「くらふとくらぶ」は、知的・発達障がい者の余暇活動、さらには就労へと結びつく一助となるような技術習得を支援する目的で2014年10月に設立した団体です。

活動のきっかけは、発達障がいを持つ自分の子供が、特別支援学校を卒業して事業所に通い始めた頃です。学校に通っていた時は、クラブ活動や美術など様々な活動に取り組む時間がありましたが、卒業後は自宅と事業所との往復が中心となり、子供たちが好きなことや創作活動など『自己表現』をする時間や機会がなくなってしまい残念だと思っていました。同じような思いを持っている親御さんもいて、「それなら子供たちが余暇活動をできる場所を私たちで作ろう」ということになり、福井大学名誉教授　熊谷高幸先生（現くらふとくらぶ会長）にご指導をいただきながら活動を始めたことがきっかけです。

現在は、「書道くらぶ」と「レザークラフトくらぶ」の２つの活動に14名の会員が参加しています。書道くらぶでは、漢字辞典から自分で書きたい字を選んで練習したり、詩が好きな人は詩を書いたり、一人一人の思いや考えを大切にして創作活動をしています。私たちは、大きな作品を創作することに迷いや緊張がありますが、彼らは大きな空間で型にはまることなく自由に表現し、作品を生み出すのです。その世界は生命力に溢れ、彩り豊かなものだと思います。

また、レザークラフトくらぶでは、定期的な講習会を開催し、技術を学び、「人が欲しいと思うもの」「長く使ってもらえるもの」を作ろうとメンバーで試行錯誤しながら作品作りに取り組んできました。苦手なことが多かったり、他者とのコミュニケーションが不得手であったりしても、作品を完成させる達成感を積み重ねることよって、仲間や家族と共通の作品づくりに楽しさや喜びを感じ、社会とのつながりを感じています。

活動を始めて５年、現在では作品展を年に数回開催し、一般の方にも作品を見ていただく機会も増えました。レザークラフト作品は、制作工程の一部をB型事業所に委託するなど障がい者の就労へのつながりもできています。今後も一人でも多くの障がい者が地域社会で生き生きとした生活を送ってもらえるよう活動を続けていきたいと考えています。

〇くらふとくらぶ会員募集（見学者も大歓迎）

活動日：書道クラブ（毎月１回土曜日）
　　レザークラフトくらぶ（偶数月1回日曜日）
会　場：県社会福祉センター（福井市光陽２－３－22）
連絡先：野尻（e-mail nemnem31@gmail.com）

第66回　福井県社会福祉大会

去る11月２日（土）、福井県生活学習館（ユー・アイふくい）にて、「第66回　福井県社会福祉大会」を開催しました。

本大会は、永年にわたり社会福祉の推進に貢献された方々に感謝の意を表するとともに、県内の福祉関係者が福祉課題に対する相互理解を深めることを目的としているものです。

式典では、民生委員児童委員など７部門２６８名および６団体、また共同募金運動に尽力された個人８名および６団体が表彰されました。

そのほか、福井県ボランティア作文コンクール、ふくし広報コンテストの入賞者・団体への表彰も行われました。

また、式典終了後には、「出会い　別れ　そしてめぐり逢い」をテーマに、女優で介護福祉士でもある斉藤とも子 氏にご講演いただきました。

講演では、女優業のほか、介護福祉士としてデイサービスに従事される中での様々な利用者との交流、また、母親を亡くされた少女時代、阪神大震災や戦争被爆体験の取材で出会った多くの方々との縁が、今の自分を生かしていることなど、実体験をもとにお話しされ、参加者が耳を傾けていました。

「ふくし広報コンテスト2019」入賞作品決定

県社協では、県内の社会福祉法人・特定非営利活動法人等による広報を通じて、福井の幸福度を支える「ふくし」の魅力や価値を広く県民に伝えることを目的に、今年で７回目となる「ふくし広報コンテスト2019」を開催いたしました。今年度の応募作品（32作品）から選ばれた入賞作品は次のとおりです。

最優秀賞

（福）ハスの実の家　「ハスの実だより」

優秀賞

（福）足羽福祉会　「愛道」

（福）池田町社会福祉協議会　「ねまーる新聞」

（福）越前町社会福祉協議会　「えちぜん社協だより」

審査員特別賞

（福）清水新生会　すみれ荘・かがやき荘　「ぬくもり」

（福）恩賜財団福井県済生会聖和園　「聖和園便り　なでしこ」

（福）希望園　「希望園だより」

（福）永平寺町社会福祉協議会　「ほほえみ」

（福）かすみが丘学園　「かすみが丘学園だより　香澄」

（福）美浜町社会福祉協議会　「社協だより」

最優秀賞の作品　（福）ハスの実の家　「ハスの実だより」

ボランティア月間制定30周年！

令和元年度「福井県ボランティア作文コンクール」入賞作品決定

県社協では、「『つながれボランティアの輪』推進運動」の一環として、作文を通じて県民の皆様がボランティア活動への関心や参加意欲を高めていただくことを目的に、「福井県ボランティア作文コンクール」を平成9年度から実施しており、今回23回目となります。また、今年度は、本会が毎年9月を「ボランティア月間」と制定してから30周年の節目の年にあたります。

「あなたのよろこび、わたしのよろこび」、「ボランティアでつながる輪」をテーマに、今年度も幅広い世代の皆さまからご応募があり、厳正なる選考の結果、次の皆さんが入賞されました。

（敬称略）

最優秀賞			
小学生の部	「おねえちゃんといっしょに」	福井市豊小学校	1年　山村　彩乃
中学生の部	「笑顔を頂く」	大野市開成中学校	2年　髙縄　七生
高校生の部	「ボランティアと私」	福井県立武生高等学校	2年　福野　真優
優秀賞			
小学生の部	「ボランティアとは何か」	敦賀市立粟野小学校	5年　石岡　珠季
中学生の部	「笑顔と言葉の力」	鯖江市中央中学校	1年　小野　未和
高校生の部	「ボランティアをする価値」	啓新高等学校通信制	2年　小幡　華也
特別賞（ボランティア月間30周年賞）			
小学生の部	「わたしのヘアドネーション体けん」	福井市豊小学校	2年　牧野　紗也加
中学生の部	「みんなで最高のボランティアを」	大野市開成中学校	3年　中出　結心
高校生の部	「人生の先輩との喜びのわかちあい」	福井県立福井商業高等学校	1年　西　帆佳
入選			
小学生の部	「わたしにできること」	大野市有終西小学校	2年　岸　來美那
	「ボランティアは身近の物」	越前市王子保小学校	5年　上良　奏太
	「私のボランティア作文」	坂井市立東十郷小学校	6年　多田　琴乃音
	「動物の幸せ」	永平寺町御陵小学校	6年　牧野　汐夏
中学生の部	「人と『繋がる』ボランティア」	大野市陽明中学校	1年　河原　紗英
	「ボランティア」	大野市開成中学校	1年　中出　健仁
	「ぼくのボランティア活動」	大野市開成中学校	1年　若林　煌之介
	「心の輪をつなげて」	越前市南越中学校	3年　髙島　凛花
高校生の部	「成長」	啓新高等学校	2年　大原　咲季
	「身の周りの喜び」	啓新高等学校	2年　唯　裕晴
	「目でみて、感じることが大切。」	啓新高等学校	2年　長谷川　さくら
	「思い違い」	福井県立丹南高等学校	3年　江指　怜
一般の部	「ボランティアでつながる輪」	福井市	鳥居　雪和
学校賞			
		永平寺町松岡中学校	

第8回ふくいチャリティー・アート展

～未来を支える子どもたちのために～

入場無料

日　時　令和元年12月20日（金）～22日（日）・24日（火）　9:30～17:00（最終日は15:30まで）
※23日（月）は休会となります。

会　場　福井県立図書館　1階　多目的ホール（福井市下馬町51-11）

県内にゆかりのある名士・作家の方から寄贈された書・絵画・陶工芸品などを展示し、入札にて頒布します。本作品頒布の収益は、子どもの健全育成や自立支援に向けた事業に活用させていただきます。

また、昨年に引き続き“くらふとくらぶ”（3ページ参照）の作品展「くらふとくらぶ聖樹展」も同時に開催します。

昨年のチャリティーアート展

くらふとくらぶの活動風景

問合せ先　総務施設課　総務グループ　TEL 0776-24-2339

【くらふとくらぶとは、知的・発達障がい者の余暇活動や就労の一助となる技術習得を支援する目的で2014年に設立された団体です。】

災害時の支援体制を強化
ライオンズクラブ国際協会と協定締結

◆新たなネットワークの構築

去る9月13日、ライオンズクラブ国際協会３３４－D地区（福井・石川・富山を統括）と県社協との間で「災害時における福祉・ボランティア活動支援に関する相互連携協定」を締結しました。

調印式では、協定締結に至る経緯を説明したあと、ライオンズクラブ国際協会３３４－D地区の山岸博之ガナバーと県社協の小藤幸男会長が協定書に署名･捺印し、相互に協定を取り交わしました。

「We Serve」（ウィ・サーブ）をスローガンに掲げて奉仕活動を展開するライオンズクラブと「つないでキラリ☆まち・ひと・えがお」をスローガンに地域福祉をすすめる県社協が、お互いの理念やめざす方向を共有したことで今回の協定が実現しました。

これにより、お互いの強みを活かし合う災害支援の新たなネットワークが構築されました。

◆「顔が見える関係づくり」へ

協定は、県内での災害を想定し、県社協からの情報提供をもとに、ライオンズクラブが対応可能な支援策を検討のうえ、被災地での福祉活動やボランティア活動への人的・物的支援を行うこととしています。

災害初動期における社協の支援活動では、災害ボランティアセンター等の資機材や専門的スキルもった人材の確保などが課題となっていました。

今回の協定により、こうした支援活動の課題を解決する大きな力を得ることになりました。

また、協定では、災害時に限らず、平時の連携や協働も規定しており、普段からの「顔が見える関係づくり」にも取り組むこととしています。

今回の協定をきっかけに、ライオンズクラブと社協の連携体制が市町域や全国に広がっていくことが期待されています。

協定書を取り交わす小藤会長（左）と山岸ガバナー

～あなたと子どもたちをつなげます!～
福井県保育人材センター開所

去る10月4日（金）、福井県社会福祉センター内に「福井県保育人材センター」を開所しました。このセンターは、保育所等における保育士不足を解消するため、県社協が福井県から委託を受け、開始となった事業です。

開所式では、県知事、県社協会長、県保育士会長のあいさつの後、関係者によるテープカットが行われました。また、福井市湊保育園の園児たちによる歌の発表も行われ、子どもたちの元気な歌声が開所式に花を添えました。

本センターでは、保育士の皆さんの就職や悩みごとなどの相談を受け、安心して働き続けていくことができるよう支援するとともに、保育所（園）などの求人情報の収集や就職あっせん（再就職）などのお手伝いします。お気軽にご利用ください。

●開 所 日　月曜日～金曜日（※土・日・祝日、年末年始を除く）
【嶺南移動相談】　第2月曜日（ハローワーク敦賀　13:00 ～ 15:00）

●受付時間　９：００～１７：００　※第2・4木曜日は20:00まで（予約制）

●所在地・連絡先　福井市光陽2丁目3-22　福井県社会福祉センター 1階
TEL　0776-21-2294　／FAX　0776-24-4187
E-mail　jinzai-center@f-shakyo.or.jp

※福井県保育人材センターについて詳しくは、
福井県社協ホームページ（http://www.f-shakyo.or.jp）をご覧ください。

東海北陸ブロック地域包括・在宅介護支援センター研究協議会『福井大会』の開催

去る9月19日（木）、20日（金）、「令和元年度東海北陸ブロック地域包括・在宅介護支援センター研究協議会『福井大会』」が「地域でのその人らしい生活を支えるために、私たちができること～今、求められている連携・協働をどう進めていくか～」をテーマに、県国際交流会館で開催され、東海北陸ブロック各県の地域包括・在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所職員など約190名が参加しました。

1日目の基調報告では全国地域包括・在宅介護支援センター協議会の青木佳之会長から今後の福祉情勢とセンターに求められる役割を、続く講義では厚労省東海北陸厚生局健康福祉部地域包括ケア推進課の佐々木忠信地域包括ケア推進官から地域包括ケアの推進やセンターの業務実態についての報告がありました。

その後は、「地域住民と関係機関が連携し課題解決に向けた取り組み」、「専門職によるチームアプローチ」、「ACP〝人生会議〟」をテーマにした3つの分科会に分かれ、グループワークを通じて課題の共有や意見交換を行いました。

2日目は初日に行われた分科会報告の後、講演として、福井県医師会長で医療法人池慶会の池端幸彦理事長から「介護予防から看取りまでを地域で支えるうえでの医療と介護の連携の必要性やセンター職員に求められること」をテーマにした教示もあり、これからの地域づくりや地域共生社会の実現をめざすうえで、多くの収穫を得た2日間となりました。

～学校進学のためのお手伝い～
生活福祉資金（教育支援資金）貸付制度のご案内

本会では、低所得者世帯を対象に就学に必要な経費また入学に際して必要な経費をお貸ししています。

概　要

資金種類	使途内容	貸付限度額※	償還期間	利子
教育支援費	学校教育法に規定する高等学校、大学、高等専門学校に就学するのに必要な経費	高等学校　月額35,000円以内 短期大学・高等専門学校　月額60,000円以内 大学　月額65,000円以内	20年以内（貸付額により期間の目安あり）	無利子
就学支度費	学校教育法に規定する高等学校、大学、高等専門学校への入学に際し必要な経費	50万円以内		

※教育支援費の貸付限度額は、特に必要であると認められる場合、記載の限度額の1.5倍まで貸付することがあります

利用にあたって

・進学者が借受人、親権者または生計中心者が連帯借受人となる必要があります。
・日本学生支援機構の給付型奨学金および第１種奨学金（無利子）、または県母子寡婦福祉資金が利用できる場合は、これらの制度を優先してご利用ください。なお、これらの制度で資金不足する場合、または支給されるまでの間のつなぎとして生活福祉資金を利用することは可能です。
・償還完了まで、県市町社会福祉協議会および地域の民生委員が見守り相談支援にあたります。
・貸付金は、就学支度費は一括で入学前に、教育支援費は上半期分、下半期分に分けて年2回、ご指定の口座に振り込みます。
・貸付に際してはその他諸条件があります。詳細はお住まいの市町社会福祉協議会にお問い合わせください。

寄付 寄贈

♥9月18日（水）

贈呈者　一般社団法人
生命保険協会福井県協会（福井市）

寄付金　100,000円

贈呈先　社会福祉法人
つつじ会（鯖江市）

寄贈物品　エコキャップ 336,327個
（ワクチン約391人分）

贈呈先　社会福祉法人　福井県社会福祉協議会

♥10月9日（水）

贈呈者　トータル・ライフ・
コンサルタント福井会（福井市）

寄付金　50,000円

贈呈先　社会福祉法人
福井県社会福祉協議会

社会福祉事業の発展のために活用させていただきます。

サキドリ情報

ボランティア月間制定30周年！
30年目のあ･り･が･と･う「ボランティアのつどい」

今年度は、本会が毎年９月を「ボランティア月間」と制定してから30周年の節目の年にあたります。日ごろ、県内でボランティア活動にご尽力いただいている方々の交流を目的として開催します。みんなでワイワイ、情報交換しましょ！

日時　令和元年11月30日(土)　12:00~14:00　　**会場**　FBCホール(福井市大和田2丁目510)

福井県ボランティアセンター
マスコットキャラクター「ランティー」

●内　　容　ボランティア月間30周年記念ムービーのお披露目、ランチ、交流ゲーム　など
●対　　象　ボランティア、ボランティアセンター職員 等（定員100名）
●参 加 費　無料
●申込〆切　11月20日(水)
●申込み・問合せ先　福井県ボランティアセンター
TEL 0776-24-4987

「介護ロボット福井フォーラム」のご案内

■日時および会場

No	地域	期　日	時　間	会　場
1	嶺北	令和元年12月18日(水)	10:00~12:30	ショッピングシティベル　あじさいホール（福井市花堂南２丁目１６－１）
2	嶺南		14:00~16:30	プラザ萬象　小ホール（敦賀市東洋町１－１）

■プログラム　自治体の取り組み紹介、平成30年度ニーズ・シーズ連携協議会事例報告、講演会、介護ロボットの事例紹介　※その他、介護ロボットの展示等を行います。
■対 象 者　介護サービス事業所の経営者、介護業務従事者、福祉用具メーカーおよびディーラー、自治体、一般県民等
■定　　員　各会場100人　　■参 加 費　無料
■問 合 せ 先　福井県介護実習・普及センター　TEL 0776-24-0086

▶表紙の写真◀

平成16年７月18日未明から嶺北地方を襲った豪雨により、福井市内を流れる足羽川をはじめとする嶺北の河川が決壊するなどして、沿岸の各地に大きな災害をもたらした。被災者の生活復旧を支援するため、「福井県水害ボランティア本部」が、また、被災した５市町（当時）にも現地ボランティアセンターが設けられ、県内外からのボランティア活動者の受け入れと活動のコーディネーションが行われた。センターが開所された７月19日から８月６日の期間で活動したボランティアの数は延べ60,000人に上った。

福井市美山地区を流れる足羽川にかかる上新橋のたもとに建つモニュメントは、福井豪雨の記録と記憶を刻み、自然災害の脅威を後世に伝えるとともに、多くのボランティアらの支援と心温まる励ましが、復興再建の大きな原動力となったこと、二度と同じような災害がおこらないことを願って建てられたものである。

ふくい社会福祉 11
ふくい社会福祉 第439号
令和元年11月10日 発行
◆発行／社会福祉法人 福井県社会福祉協議会
〒910-8516 福井市光陽2丁目3-22
TEL(0776)24-2339 URL http://www.f-shakyo.or.jp/
◆編集／総務施設課（1部35円：購読料は会費に含まれます）

「令和元年度 福井県社会福祉協議会会長表彰」被表彰者

民生委員児童委員功労表彰（28名）

敦賀市	松岡 美紀	
小浜市	川畑 潤子	
小浜市	田中 健一	
小浜市	宮﨑 建雄	
小浜市	山﨑 正博	
小浜市	四方 好和	
鯖江市	青山 末子	
鯖江市	山田 喜久代	
越前市	石田 いくこ	
越前市	歸山 礼子	
越前市	門林 充子	
越前市	河合 美智子	
越前市	河村 和江	
越前市	木下 良子	
越前市	小泉 憲昭	
越前市	嶋﨑 和子	
越前市	杉森 妙子	
越前市	鈴木 知恵子	
越前市	田中 征子	
越前市	永井 明	
越前市	西川 秀明	
越前市	真柄 みどり	
越前市	矢佐八 朱江	
越前市	吉田 輝雄	
越前市	若泉 安子	
坂井市	小嶌 美津子	
坂井市	髙ケ内 しずゑ	
池田町	平井 みどり	

福祉委員功労表彰（76名）

福井市	秋田 敦子	
福井市	朝倉 光一	
福井市	有馬 カヨ子	
福井市	安立 謙二	
福井市	池田 タケ子	
福井市	石井 香	
福井市	岩井 善郎	
福井市	岡田 始	
福井市	恩田 豊子	
福井市	斉木 智美	
福井市	笹木 章子	
福井市	佐々木 勝利	
福井市	定 千鶴子	
福井市	鈴木 房路子	
福井市	生川 惠美子	
福井市	千秋 利榮	
福井市	高島 百合子	
福井市	竹内 幸雄	
福井市	中村 京子	
福井市	西尾 節子	
福井市	濱谷 昭代	
福井市	増井 賢三	
福井市	松浦 邦征	
福井市	松下 千代子	
福井市	毛利 茂則	
福井市	山川 流子	
福井市	脇本 重和	
敦賀市	市埜 絹子	
敦賀市	清水 節子	
敦賀市	田中 美紀子	
敦賀市	田中 満子	
敦賀市	百田 治美	
敦賀市	山本 知子	
大野市	上田 隆澄	
大野市	米倉 治一	
越前市	青木 洋子	
越前市	飯田 とみ子	
越前市	池田 綾子	
越前市	今井 広美	
越前市	岩崎 ひとみ	
越前市	上野 恵子	
越前市	上道 明美	

社会福祉施設功労表彰（69名）

越前市	大橋 英子	
越前市	小栢 千代子	
越前市	木村 政子	
越前市	木谷 悦子	
越前市	河野 文代	
越前市	近藤 輝子	
越前市	坂川 千恵	
越前市	坂下 のぶ子	
越前市	清水 八十八	
越前市	高野 初美	
越前市	滝呑 美恵子	
越前市	多湖 節子	
越前市	棚田 澄子	
越前市	田邊 成子	
越前市	寺尾 智恵子	
越前市	中井 強	
越前市	中島 京子	
越前市	畑浅 子	
越前市	法幸 英子	
越前市	前田 千代子	
越前市	山本 紀美代	
越前市	山本 保恵	
越前市	有江 ヨシミ	
坂井市	板倉 孝子	
坂井市	細川 保子	
坂井市	松村 憲司	
越前町	嘉奈 シゲ子	
越前町	小北 美由喜	
越前町	児玉 正	
越前町	坂本 邦子	
越前町	中岸 八千代	
越前町	山下 恵子	
福井市	紀谷 洋幸	愛寿苑
福井市	富田 祐理	あさくら苑
福井市	池田 武右ェ門	あさむつ苑
福井市	岩本 真由美	あさむつ苑
福井市	林 佳子	あさむつ苑
福井市	吉田 雅世	あさむつ苑
福井市	西田 ひとみ	足羽更生園
福井市	安田 春美	足羽更生園
福井市	清水 弥生	足羽利生苑
福井市	石橋 弥生	足羽東こども園
福井市	高村 昌裕	足羽福祉会
福井市	橋本 裕樹	足羽ワークセンター
福井市	錦織 郁裕	グループホーム美山
福井市	板倉 利江	こしの渚苑
福井市	井口 ますみ	コミュニティーネットワークふくい
福井市	辻川 一葉	コミュニティーネットワークふくい
福井市	寺崎 訓夫	コミュニティーネットワークふくい
福井市	中村 祐子	コミュニティーネットワークふくい
福井市	幅口 岳晴	コミュニティーネットワークふくい
福井市	早佐古 達也	コミュニティーネットワークふくい
福井市	松尾 幸政	コミュニティーネットワークふくい
福井市	黒瀬 陽亮	支援センターすだち
福井市	白澤 照久	新清会
福井市	吉田 新内	新清会
福井市	木下 みどり	花むつ苑
福井市	吉川 真由美	花むつ苑
小浜市	山村 千秋	福井美山荘
小浜市	坪田 健児	第二やすらぎの郷
小浜市	横山 智美	第二やすらぎの郷
大野市	藤沢 里美	大野荘
大野市	葭安 鉄也	大野荘
大野市	久保 まさ子	大野和光園（特養）
大野市	坪内 和美	大野和光園（特養）
大野市	森岡 友希	大野和光園（特養）
大野市	山本 富美子	大野和光園（特養）
大野市	大南 さとえ	大野和光園（養護）
大野市	桐林 喜代美	大野和光園（養護）
大野市	鈴木 とも子	大野和光園（養護）
大野市	細井 俊徳	大野和光園デイサービスセンター
大野市	臼井 伊佐子	大野和光園デイサービスセンター
大野市	神谷 照美	大野和光園和らぎの里
大野市	西山 美津枝	大野和光園和らぎの里
大野市	安川 百合子	大野和光園和らぎの里
大野市	追別 小夜子	福井県済生会聖和園
鯖江市	川井 のり子	地域活動支援センターやすらぎ
鯖江市	山田 弘	つつじ会
あわら市	渡邊 和代	あわら市金津雲雀ヶ丘寮
あわら市	立田 たけ子	芦原メロン苑
あわら市	近間 薫	芦原メロン苑
あわら市	西山 真粧美	芦原メロン苑
あわら市	長谷川 真佐子	芦原メロン苑
越前市	磯野 桂子	一陽
越前市	横河 慶宝	一陽
越前市	瓜生 妃士江	寿楽園
越前市	辻 朱美	寿楽園
越前市	白木 亨	相談支援事業所With
越前市	尾熨斗 愛子	第2和上苑
越前市	小瀧 隼人	第2和上苑
越前市	丸山 郁美	第2和上苑
越前市	須山 和泉	たけふ福祉工場
坂井市	角谷 陽子	長寿園
坂井市	諏訪 円	長寿園
坂井市	蔵道 信	長寿幸元会

社会福祉施設功労表彰（保育施設）（29名）

福井市	杉本真弓	幼保連携認定こども園あさかぜ
福井市	氣谷智湖	幼保連携認定こども園三谷館
福井市	山本二美江	幼保連携認定こども園三谷館
敦賀市	小川加奈	粟野保育園
敦賀市	瀬戸川尚代	金山保育園
敦賀市	竹中美紀	つくしんぼ保育園
敦賀市	小泉由紀子	中郷西保育園
敦賀市	川瀬朋子	松原保育園
敦賀市	穐村円	三島保育園
小浜市	西川圭子	小浜市浜っ子こども園
小浜市	清水美和	加斗保育園
小浜市	伊勢章子	聖ルカ乳児保育園
小浜市	嶋田弥生	聖ルカ乳児保育園
小浜市	池田裕子	松永保育園
勝山市	石井恭子	きたこども園
勝山市	立壁美桜	きたこども園
勝山市	南部香織	しろきこども園
勝山市	廣瀬夕希江	しろきこども園
鯖江市	橘英亜機	あおい保育園
鯖江市	岡田秀治	鯖江すみれ保育園
越前市	宮崎直美	認定こども園南中山
越前市	桑原三佳	南保育園
坂井市	井沢陽子	加戸幼保園
坂井市	岡崎郁	加戸幼保園
永平寺町	吉田美千代	永平寺町志比南幼児園
永平寺町	中川優子	永平寺町松岡西幼児園
南越前町	奥村航	河野保育園
越前町	谷口育代	越前町立朝日西保育所
越前町	福岡沙織	越前町立朝日南保育所

社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労表彰（53名）

福井市	大嶋民恵	福井県社会福祉協議会
福井市	佐藤美栄	福井県社会福祉協議会
福井市	福田良通	福井県社会福祉協議会
福井市	石田のぶ子	福井市社会福祉協議会
福井市	船谷佐代子	デイサービスセンターいこい・ほほえみ
南越前町	山内法生	ほのぼの苑
越前町	新谷孝雄	敬老会
越前町	赤星恵吾	第三光が丘ハウス
越前町	青山直人	ライトホープセンター
越前町	吉田正樹	ライトホープセンター
福井市	下出梨津子	福井市社会福祉協議会
福井市	福島正美	福井市社会福祉協議会
敦賀市	荒木宗興	敦賀市社会福祉協議会
敦賀市	菅原親子	敦賀市社会福祉協議会
敦賀市	塚口明代	敦賀市社会福祉協議会
敦賀市	冨山信子	敦賀市社会福祉協議会
敦賀市	渕田泰正	敦賀市社会福祉協議会
敦賀市	山口幸子	敦賀市社会福祉協議会
敦賀市	瞿曇隆子	福井県母子寡婦福祉連合会
小浜市	小田睦子	小浜市社会福祉協議会
小浜市	長谷川正美	小浜市社会福祉協議会
小浜市	松岡芳孝	小浜市社会福祉協議会
小浜市	山下美恵	小浜市社会福祉協議会
大野市	清水文子	大野市社会福祉協議会
勝山市	竹原幸雄	勝山市社会福祉協議会
勝山市	田村喜代美	勝山市社会福祉協議会
勝山市	反保真弓	勝山市社会福祉協議会
勝山市	長谷川敦子	勝山市社会福祉協議会
勝山市	山内ひとみ	勝山市社会福祉協議会
越前市	石本恭子	越前市社会福祉協議会
越前市	岩崎凡子	越前市社会福祉協議会
越前市	慶家嘉代子	越前市社会福祉協議会
越前市	小泉博美	越前市社会福祉協議会
越前市	佐々木恵子	越前市社会福祉協議会
越前市	仲道直子	越前市社会福祉協議会
越前市	中山尚子	越前市社会福祉協議会
越前市	畑裕子	越前市社会福祉協議会
越前市	村下誠一	越前市社会福祉協議会
越前市	山本麻美	越前市社会福祉協議会
越前市	吉川美由紀	越前市社会福祉協議会
坂井市	若宮博子	坂井市社会福祉協議会
坂井市	奥村智和	坂井市社会福祉協議会
坂井市	小林八重美	坂井市社会福祉協議会
坂井市	島口源浩	坂井市社会福祉協議会
坂井市	中車安子	坂井市社会福祉協議会
坂井市	前田玲子	坂井市社会福祉協議会
坂井市	山本俊郎	坂井市社会福祉協議会
坂井市	横石雅子	坂井市社会福祉協議会
高浜町	千坂美紀代	高浜町社会福祉協議会
若狭町	木下健	若狭町社会福祉協議会
南越前町	梅田京美	南越前町社会福祉協議会
南越前町	高岡千代枝	南越前町社会福祉協議会
越前町	山野暁美	越前町社会福祉協議会
美浜町	鈴木利恵	美浜町社会福祉協議会
高浜町	橋本佳和	高浜町社会福祉協議会
若狭町	田中恭子	若狭町社会福祉協議会
若狭町	内藤利博	若狭町社会福祉協議会
若狭町	村上由美子	若狭町社会福祉協議会
若狭町	山本真輔	若狭町社会福祉協議会

優良ボランティア表彰（個人）（13名）

福井市	竹内和代	越前町
福井市	山本裕子	越前町
坂井市	山口弘子	美浜町
永平寺町	室林洋子	奥井洋子
永平寺町	森ちさと	美浜町
南越前町	坂川律子	高木孝子
南越前町	山口多津男	玉井文子
		美浜町
		山内寛子

優良ボランティア表彰（団体）（6団体）

福井市	お話し相手ボランティアグループあさがおの会
福井市	お話し相手ボランティアグループみみっ子
大野市	絵手紙ひよっこくらぶ
越前町	クローバーの会
若狭町	三方地区明るい社会づくり推進協議会
若狭町	明倫買い物クラブ

福井県共同募金会会長表彰被表彰者

共同募金運動奉仕功労者表彰（8名）

福井市	井上幸美
福井市	下中洋子
福井市	千秋利榮
福井市	中畑里美
越前市	松並久太夫
越前市	奥村武男
越前市	寺沢克之
越前市	山田儀男

共同募金運動優良団体表彰（6団体）

敦賀市	特定非営利活動法人 子育てサポートセンターきらきらくらぶ
鯖江市	北中山小学校児童会
鯖江市	鯖江中学校生徒会
越前市	越前市国高小学校
越前市	越前市武生西小学校
越前市	越前市武生南小学校